

二月三日（月）

「如月（きさらぎ）」

寒さで着物を更に重ねて着るという「着更着」、気候が陽気になるという「気更木」、草木が生え始めるという「生更木」などの語源の説があるらしいです。いずれにせよ、冬から春への分岐点であることは間違いありません。1月は行った。「逃げる2月」「去る3月」に負けられない生活走力がほしいですね。今日は「節分」。明日から私立一般入試。名実ともに節を分け、春を迎えるチャレンジが続きます。